

第9回 高専技術教育研究発表会 in 舞鶴 参加報告

技術第2班 一条 洋和

1. 概要

平成30年3月12日から13日、舞鶴高専が主催する「第9回 高専技術教育研究発表会 in 舞鶴」に参加した。全国から技術職員が集まり、口頭発表36件、ポスター発表17件が行われた。

2. 日程

<1日目>

13:00-13:20	開会式 理事長挨拶・校長挨拶
13:20-13:40	特別講演 「地方創生における 高等教育機関の在り方」
13:50-16:05	口頭発表 (3会場)
16:10-16:55	ポスター発表
19:00-	情報交換会

<2日目>

9:00-11:15	口頭発表 (3会場)
11:20-11:30	閉会式

3. 各日程の詳細

● 特別講演

地方創生というテーマが主なものであったが、この講演または発表会に参加した後に具体的なアクションを起こすことの重要性が強調された印象的な話であった。特に、名刺管理ソフトを導入するという変化を勧められた。

また、今回の発表会は多くの人にとって遠方

となる舞鶴で行われたが、遠方であるがゆえに現地での宿泊の需要が生まれ、地方創生の効果が期待できる、という点も興味深かった。

● 口頭発表

発表15分、質疑5分で行われ、安全衛生管理、実習改善、公開講座といった多岐にわたる発表を聴くことができた。自身の発表としては、「パワーエレクトロニクス実験の教材開発」というテーマで発表を行った。実験の現状や今後の発展に関して討論することができた。

● ポスター発表

研究報告や実験実習の事例報告、対外活動の報告などが行われた。舞鶴高専との共同研究を行っている企業の参加もあり、IoTに関する技術紹介を聴くことができた。



写真 ポスター発表会場

4. おわりに

今回の発表会は、最初の特別講演で名刺が話題になったこともあり、多くの方との交流を図ることができた。また、全体的に科研費事業の成果発表が多いと感じた。次回以降の科研費申請書類には、この発表会の予算を含めることとしたい。